

2024

10枚のセルフイーでイタリア

未来を築く人間中心の経済

SYMBOLA
Fondazione per le qualità italiane

製造が

SYMBOLA

Fondazione per le qualità italiane

後援により



Ministero degli Affari Esteri
e della Cooperazione Internazionale



MINISTERO DELL'AMBIENTE
E DELLA SICUREZZA ENERGETICA



Ministero delle Imprese
e del Made in Italy

連携で



UNIONCAMERE



ASSOCAMERESTERO
ASSOCIAZIONE DELLE CAMERE DI
COMMERCIO ITALIANE ALL'ESTERO

CNA, Confartigianato, Enel, Farmindustria, Federacciai, Federlegnoarredo, Feralpi, Fondazione Qualivita, ISMEA

に感謝の意を表します

2024年版「10枚のセルフイーでイタリア」の今年の表紙に使用された色は、パントン Peach Fuzz です。パントン カラー インスティテュートが2024年に選んだ色は、優しさ、帰属意識、分かち合い、コミュニティ感、協力感を刺激することを目的としています。

「中世以来、鐘楼の陰でイタリア人は世界中が好む美しいものを作ることに慣れてきました。」カルロ
・マリア・チポラ

「最も美しいものは完璧ではない、特別なものだ」
ボブ・マーリー

「10枚のセルフィーでイタリア」では、ほとんど知られていない、または過小評価されていることが多いこの国の初の事例に毎年ハイライトを当てていますが、これらの事例は、より人間中心であり、したがって将来により有望な経済を定義づけるものです。この調査は、公的関係と領土関係、革新性、持続可能性、美しさによって促進された国家生産システムの質的変革のプロセスを通じて、イタリアの製品の価値とその輸出競争力がどのように向上したかを浮き彫りにするデータを提供します。これは農業産業にも当てはまります。イタリアからの輸出が他国よりも伸びているため、イタリアは高品質の製品や医薬品におけるリーダーシップをますます確認しつつあります。そして、イタリアの鉄鋼業界は、世界初の大規模カーボンニュートラル認証鉄鋼工場であるArvediや、大規模な投資を実施したFeralpiなどの有力企業の支援を受けて、グリーンスチールの生産により脱炭素化を世界に先駆けて実現した業界の一つです。再生可能エネルギー源の計画を立てます。そしてシチリア島には、欧州最大の両面受光型太陽光発電モジュール生産工場が建設中です。

「メイド・イン・イタリー」の品質、効率性、美しさは、今でもイタリアを遊園地の乗り物や設備の最大の輸出国たらしめている要因であり、ユニアイランドからシンガポールに至る世界有数の遊園地のアトラクションの多くはイタリア製です。この美しさは、国内に広く代表される偉大な歴史的文化遺産によっても裏付けられています。イタリアには、ユネスコの世界遺産に登録されている遺跡が最も多くあります。

それは、多くの場合他国よりも優れている国民経済の健全性を理解するのに役立つ才能であり、私たちが昔から抱えている問題だけでなく、今日私たちが直面している問題にも対処できる才能です。気候危機から始まります。私たちは地球上の弱体化した協力と平和の道を強化することによってこれを達成しなければなりません。誰も置き去りにせず、一人ぼっちにせず、より安全で、より文明的で、より優しい世界と一緒に構築することです。これら10の主要な成果の背後には、Fondazione Symbolaが未来のアイデアを共有する多数の衛星と協力して実施された調査でまさにイタリアを形づくっている国があります。

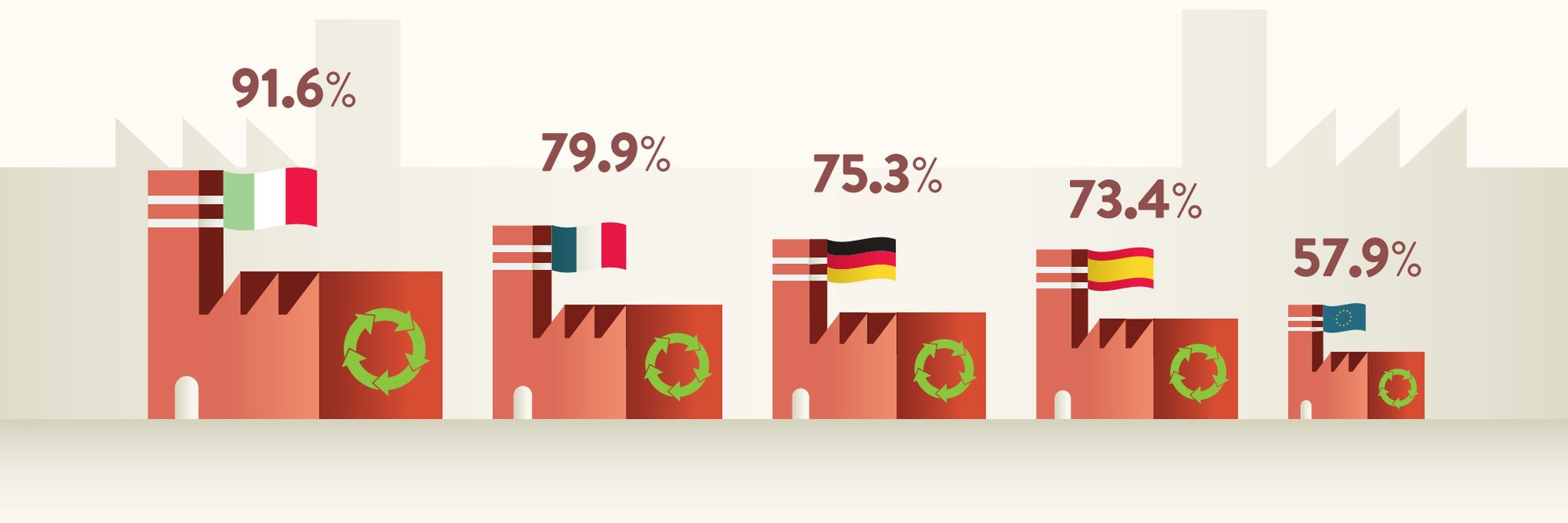
ERMETE REALACCI
Fondazione Symbolaの会長

2024

10枚のセルフィーでイタリア

未来を築く人間中心の経済

01. 循環経済のリーダー
 02. 世界最大の再生可能エネルギー供給者はイタリア
 03. G7 諸国の中で初のグリーンスチール生産
 04. イタリアは農業の品質と環境への取り組みにおいてヨーロッパ第一位
 05. 美しさ、安全性、エネルギー効率のおかげで、世界で最も売れているイタリアのアクション
 06. 家具産業: 貿易バランスでは世界第3位、100%リサイクルパネルの生産ではヨーロッパ第1位
 07. コンGRES・ツーリズム: イタリアは世界第2位、ヨーロッパでは第1位
 08. パスタ生産の世界チャンピオン
 09. 医薬品: イタリアは世界初の輸出成長国
 10. ユネスコ世界遺産の数では世界初、デザインではヨーロッパのリーダー
-



循環経済のリーダー

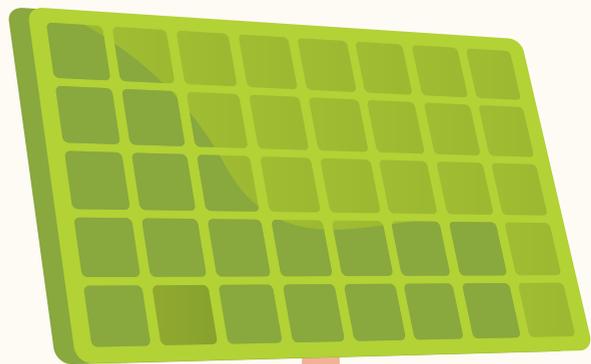
イタリアは、発生する特殊廃棄物および都市廃棄物の総量のリサイクル率がヨーロッパで最も高い国です(91.6%)。これは、ヨーロッパ(57.9%)、ドイツ(75.3%)、フランス(79.9%)、スペイン(73.4%)の平均よりも高いです。¹資源効率のエコイノベーション指数(ルクセンブルクと並んで)では、EU平均が147点であるのに対し、イタリアは274点で第1位となっています。この点では、イタリアは原材料の生産性(GDP/国内原材料消費量)、エネルギー消費の生産性(GDP/総エネルギー消費量)ともにフランス、ドイツ、スペインに比べて優れており、温室効果ガス排出量の生産性では劣っています(GDP/CO₂換算)。²イタリアは、使用済み鉱油の回収率が98%であるのに対し、欧州では61%で、欧州におけるリーダーシップを確立していることを確認しています。リサイクル材料を使用することにより、イタリアでは毎年、石油換算で1,640万トンと5,500万トンのCO₂が削減されます。¹

01.

欧州主要国における総廃棄物(都市廃棄物および特殊廃棄物)のリサイクル率、2022年、入手可能な最新データ(パーセンテージ)

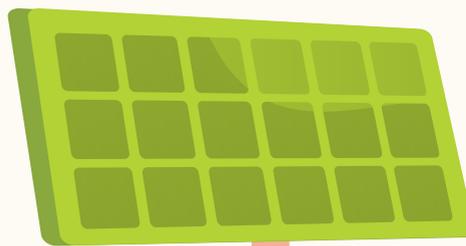
FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」。2024
 ソース¹ Fondazione Symbola と Unioncamere, Greenitaly 2024; ² Fondazione Symbola と Unioncamere, Greenitaly 2023

63.3GW



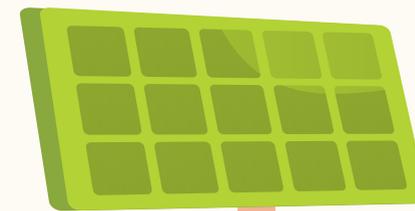
ENEL

45.4GW



ENGIE

42.2 GW



IBERDROLA

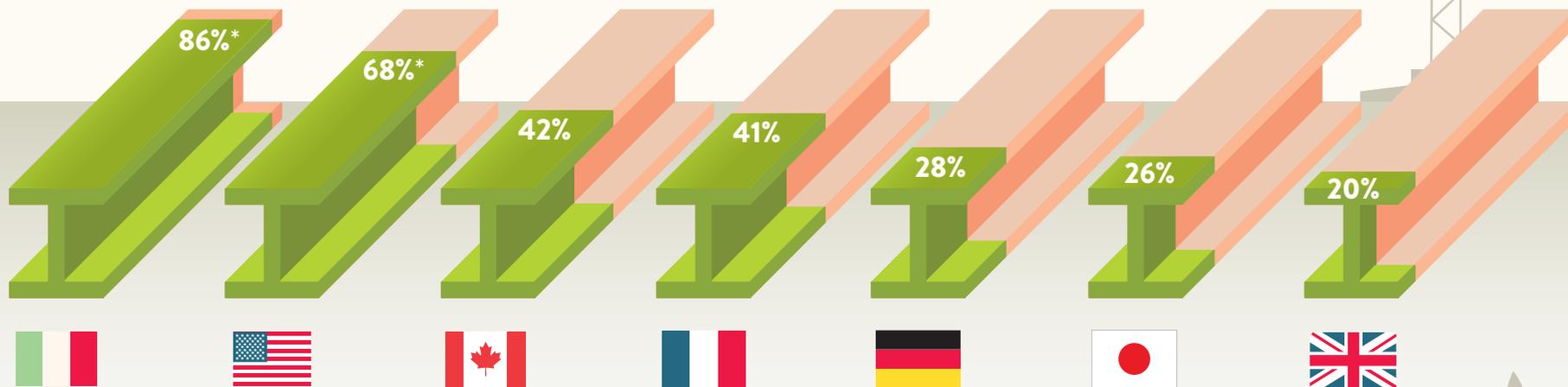
世界最大の再生可能エネルギー供給者はイタリア

Enel は、子会社の Enel Green Power を通じて、再生可能エネルギー分野における世界最大の民間供給者であり、2023 年には風力、太陽光、地熱、水力発電所による総設置容量が 63.3 GW (エネルギー貯蔵価値を含む) になります。それらはヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアにあります。次にフランスの Engie (45.4 GW) とスペインの Iberdrola (42.2 GW) が続きます。¹ Enel はカタールニアに高性能二相 PV セルとモジュールを生産するヨーロッパ最大の工場を建設中で、年間 3 GW の生産能力を持つ予定です。2025 年末に完全に稼働する予定です。2023 年、イタリアは世界の太陽光発電市場トップ10 にランクされ、5.2GW の新しい太陽光発電所を設置しました。²

02.

総運用設備容量、2023年 (GW単位の値)

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
ソース¹ 2023年のサプライヤー掲載。政府の支配が優勢なサプライヤーは含まれない; ² Solar Power Europe (2024)



G7 諸国の中で初のグリーンスチール生産

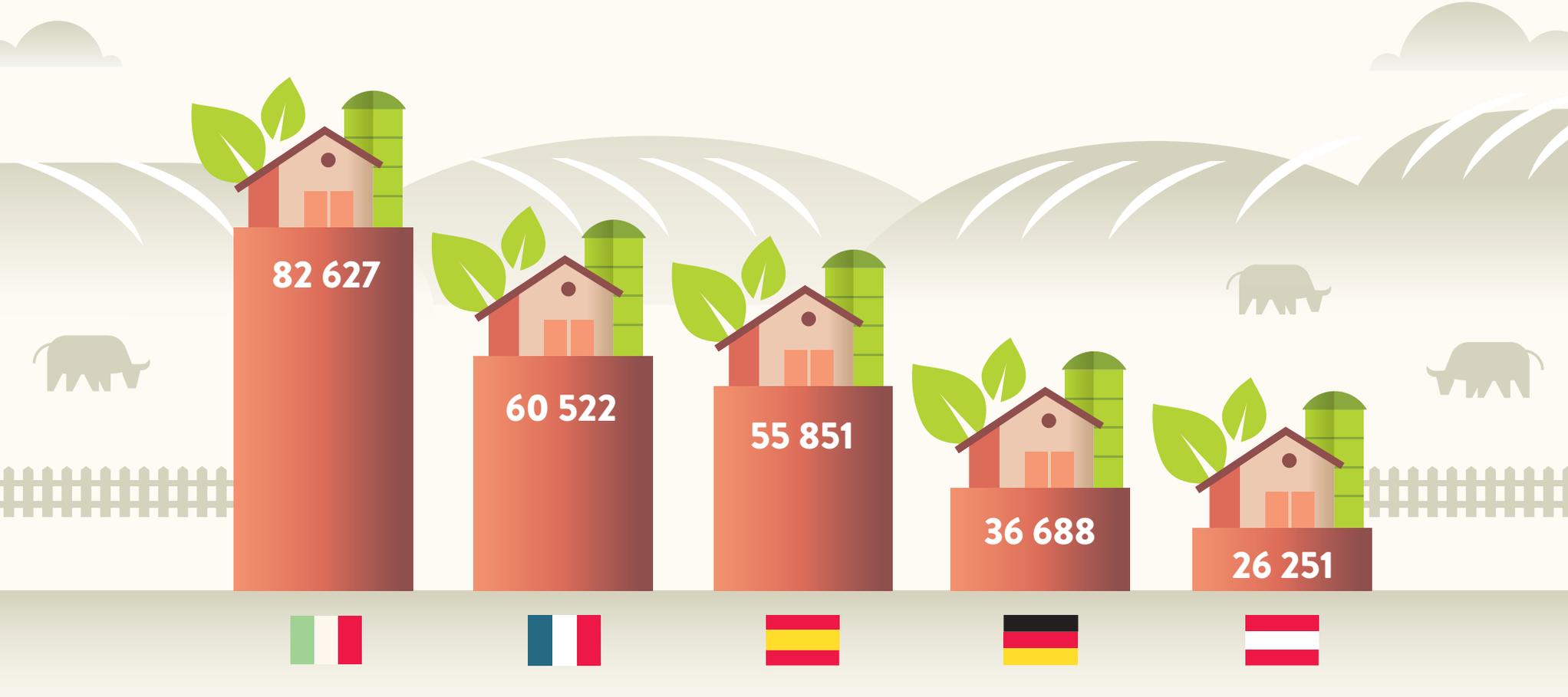
イタリアの鉄鋼産業は、脱炭素化プロセスのリーダーです。電気炉サイクルを使用して生産される鉄鋼のシェアはG7諸国の中で推定86%で第1位であり、次いで米国(68%)、カナダ(42%)となっています(2023年)。¹ エネルギー効率のリーダーであり、エネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合が増加しているため、単位消費量はヨーロッパおよび主要なEU諸国(ドイツ、フランス、スペイン)の平均を大幅に下回っています。さらに、生産に使用される原材料の約76%はリサイクルされた鋼材から作られています(6年間で17%増加)。² この製鉄所が世界で初めてカーボンニュートラルの認定を受けたのはイタリアです。この地位により、この部門は生産量においてドイツに次ぐEU内第2位となり、欧州および国際市場での競争力が高まりました。

03.

G7諸国の電気炉による鉄鋼生産量、2023年(割合値)

*推定

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフイーでイタリア」、2024
 ソース¹ Worldsteel Association (2024); ² Federacciai, サステナビリティレポート2023



イタリアは農業の品質と環境への取り組みにおいてヨーロッパ第一位

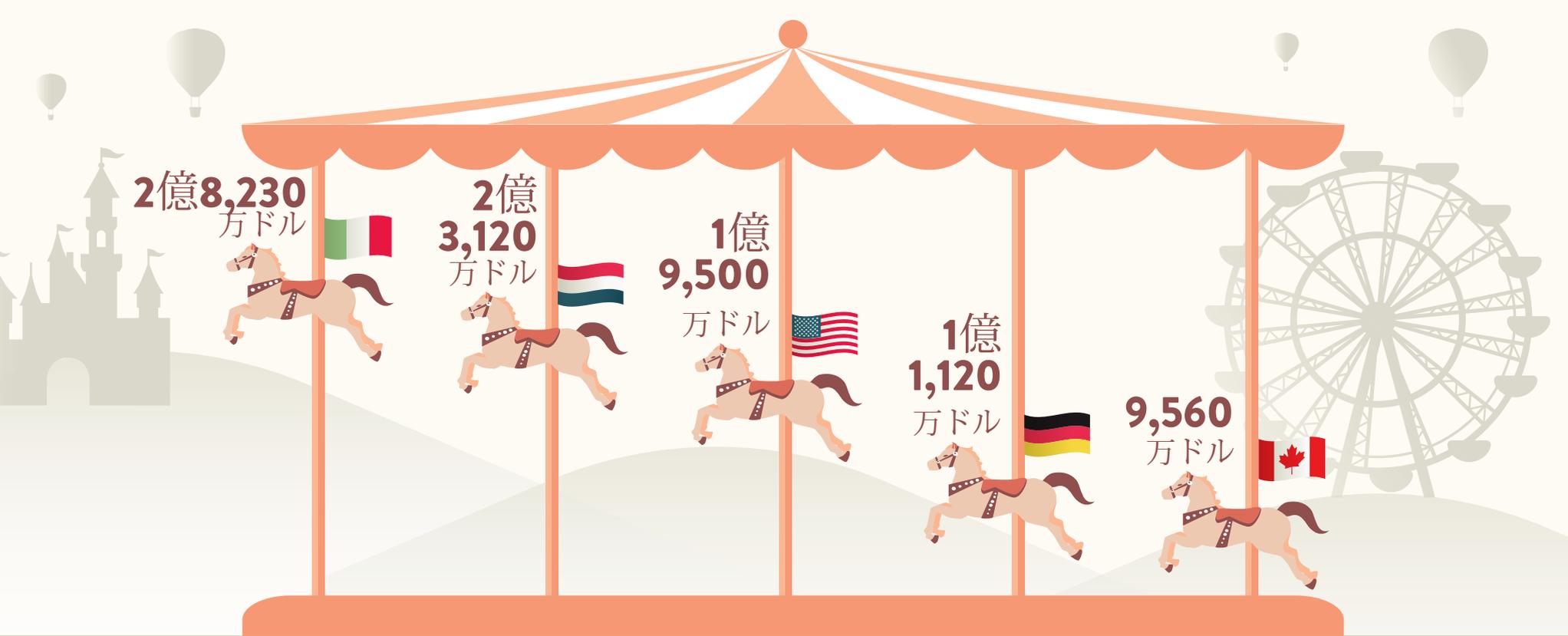
イタリアは有機農場の数で欧州第1位で、従業員数は8万2627人で、フランス（6万5222人）、スペイン（5万5851人）、ドイツ（3万6688人）、オーストリア（2万6251人）を上回っています。¹イタリアは856品目あり、登録および保護されている農産物とワイン製品の数でもヨーロッパで第1位にランクされています（DOP 584品目、IGP 268品目、STG 4品目）。次いでフランス（715品目）、スペイン（361品目）、ギリシャ（264品目）、ポルトガル（194品目）となっています。²

イタリアでは、法的制限を超える化学物質を含む食品の割合は製品全体の0.98%に相当し、ヨーロッパで2位、大陸の大国の中では1位にランクされています（2022年）。³イタリアの農業は過去20年間で他のEU主要国（フランス、ドイツ、スペイン）よりも高い割合で温室効果ガス排出量を削減しており、EU平均は27（2021年）です。⁴

04.

ヨーロッパ主要国の有機農場、2022年（絶対値）

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフイーでイタリア」. 2024
 ソース | ¹ ISMEA (2024); ² Fondazione Qualivita 天文台、2024年7月; ³ EFSA (2024); ⁴ 欧州委員会からのデータに基づく Fondazione Symbola の開発



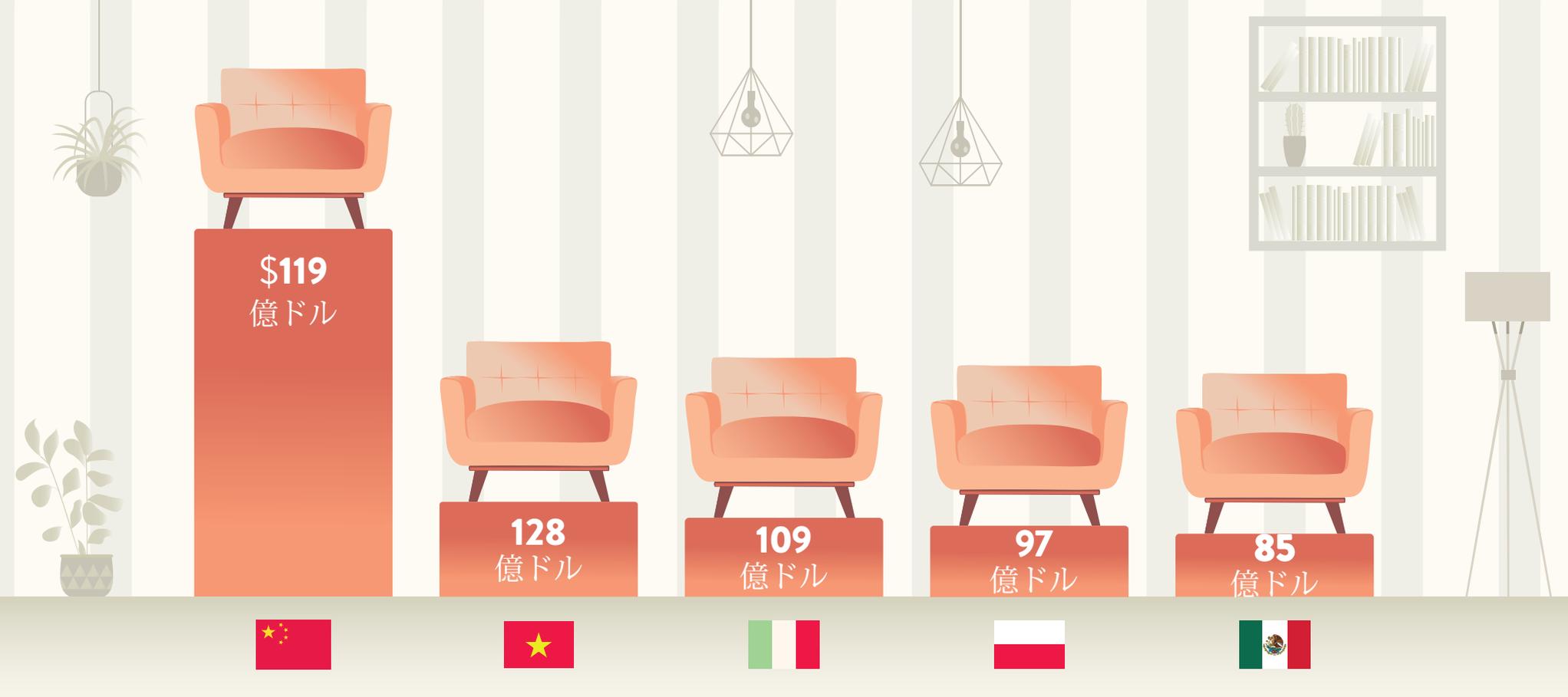
美しさ、安全性、エネルギー効率のおかげで、世界で最も売れているイタリアのアトラクション

イタリアのアトラクションの質の高さは世界中で認められています。イタリアの最高の職人技、エネルギー効率、安全性、信頼性は、コニーアイランドからディズニーランド、シンガポールからアラブ首長国連邦に至るまで、世界で最も人気のある遊園地で高く評価されています。遊園地の乗り物や設備の輸出ではイタリアが2億8,230万ドルで事実上首位となり、オランダ（2億3,120万ドル）、米国（1億9,500万ドル）、ドイツ（1億1,120万ドル）、カナダ（9,560万ドル）が続きます。（2023年）。¹ 売上高の60.9%はEU以外の市場からのものです。イタリアの観光名所の生産には137の企業が含まれており、そのうち67.2%がヴェネト・エミリア・ロマーニャ・ロンバルディア州の三角地帯で操業しています（2023年）。²

05.

主要な遊園地のアトラクションおよび設備輸出国の輸出額、2023年（百万米ドル）

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
 ソース¹ UN Comtradeからのデータに基づく Fondazione Symbolaの開発;² 工芸連盟の研究支部(2024)



家具産業: 貿易バランスでは世界第3位、100%リサイクルパネルの生産ではヨーロッパ第1位

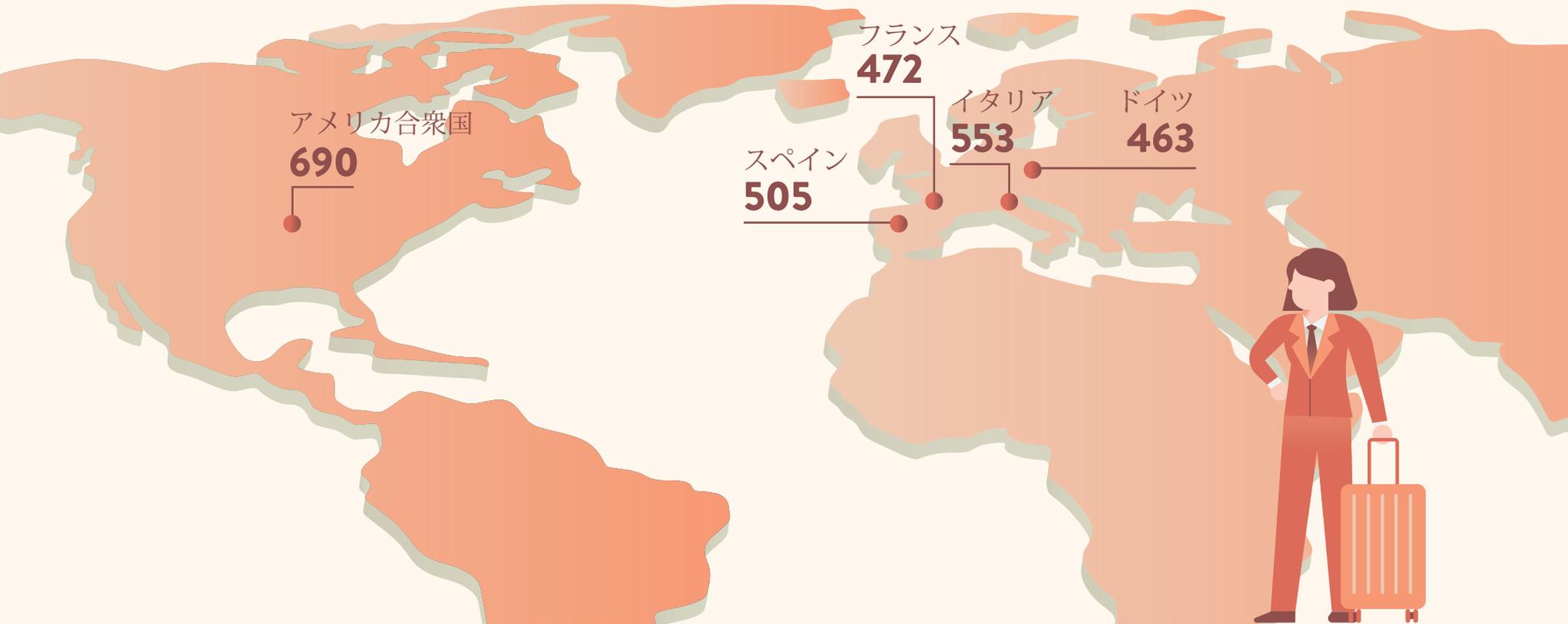
イタリアの家具産業貿易黒字は109億ドルで、世界第3位となっています。中国（1,190億ドル）とベトナム（128億ドル）が先行し、イタリアはポーランド（97億ドル）とメキシコ（85億ドル）を上回っています。輸出額では中国（1,215億ドル）、ドイツ（187億ドル）に次いで158億ドルで第3位です（2023年）。¹ 2022年の売上高は272億ユーロで、ドイツ（265億ユーロ）を上回りEU内で1位となり、ポーランド（154億ユーロ）、フランス（87億ユーロ）、スペイン（79億ユーロ）が続きます。²

2023年末の時点で、イタリアには木材および家具産業全体の従業員数が21万6千人、登録企業が5万4千社あり、その57%が家具部門で働いています。³ イタリアで生産されるパーティクルボードの約93%は100%リサイクル木材から作られています。⁴ この分野の企業の60%が再生可能資源からのエネルギーを使用しています。⁵

06.

家具産業の貿易残高、2023年（数十億ドル）

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
 ソース¹ UN Comtrade のデータに基づいた FederlegnoArredo の開発;² ユーロスタットのデータに基づく Fondazione Symbola の開発;³ 工芸連盟の研究支部 (2024);⁴ EFP-European Panel Federation, 2018 (最後に利用可能な);⁵ Survey FLA Plus 2023



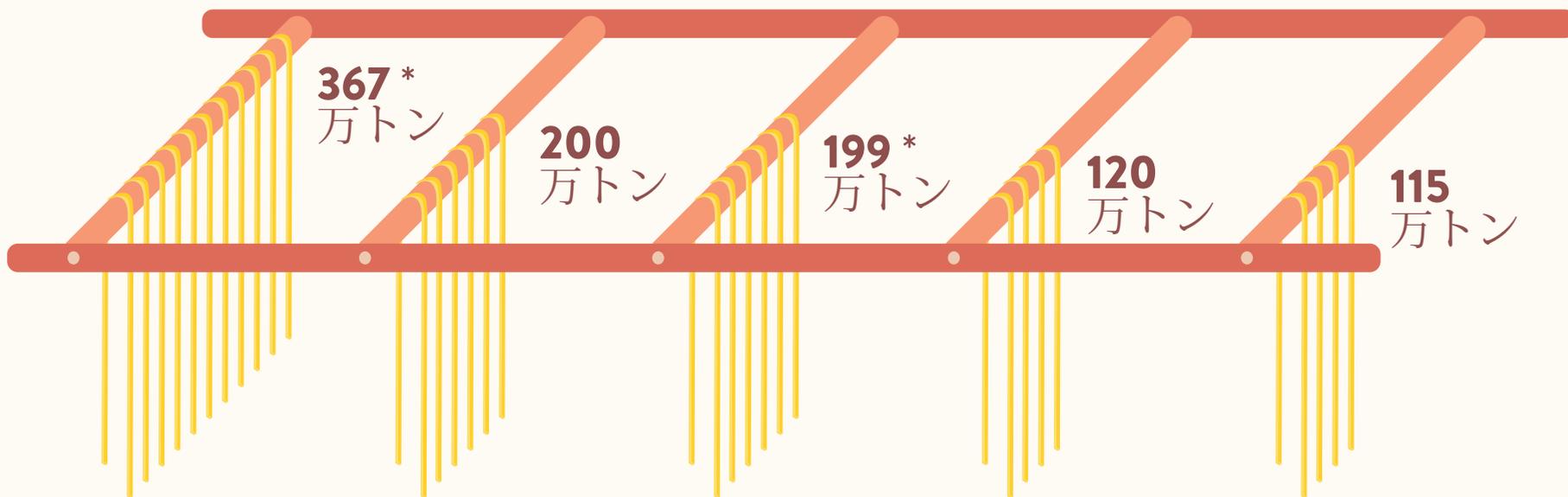
kongress・ツーリズム：イタリアは世界第2位、ヨーロッパでは第1位

イタリアは kongress・ツーリズムにおいてヨーロッパで第1位、世界第2位にランクされています。2023年には553の議会が開催され、これはスペイン(505件)、フランス(472件)、ドイツ(463件)を上回り、世界で米国(690件)に次いで第2位です。この5年間でこの国はヨーロッパで6位から1位に浮上し、2022年から2023年にかけて開催された会議の数に関して、ランキングのリーダーの中で成長を示した唯一の国となりました。世界トップ100に入るイタリアの多くの都市は、kongress・ツーリズムの上位目的地となっている：ローマ（7位）、ミラノ（29位）、ボローニャ（47位）、フィレンツェ（60位）、ナポリ（66位）、トリノ（78位）、ヴェネツィア（84位）です。¹イタリアは宿泊・ケータリング部門の従業員数でもヨーロッパ第一位の国であり、企業数は約32万社、次いでスペイン（29万1千人）、フランス（28万5千人）、ドイツ（23万1千人）となっています（2022年）。²

07.

開催された会議、2023年（絶対値）

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
 ソース¹ International Congress and Convention Association - ICCA (2024); ² ユーロスタットのデータに基づく
 Fondazione Symbolaの開発



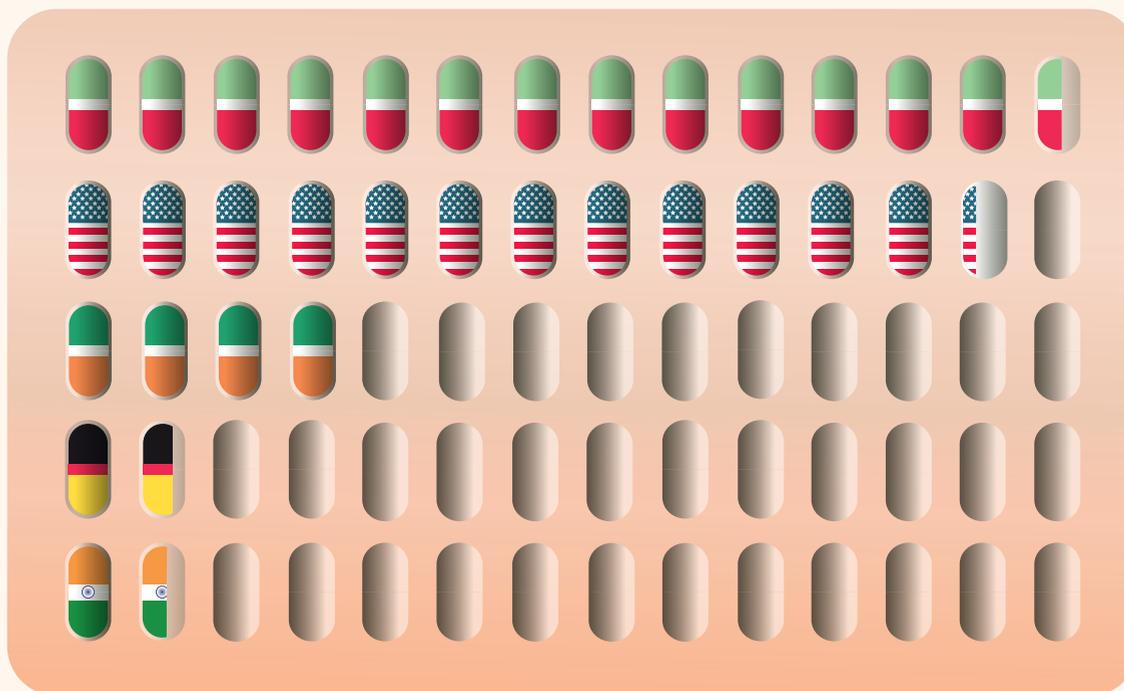
パスタ生産の世界チャンピオン

パスタ生産量はイタリアが約400万トン（367万トン）で世界第1位で、次いで米国（200万トン）、トルコ（199万トン）、エジプト（120万トン）、ブラジル（115万トン）となっています。¹ 売上高は約70億ユーロです(2022年)。² イタリアで生産されるパスタの60%以上が海外市場向けです。さらに、2023年には220万トン以上が生産され、そのうち150万トンがEU向けでした。² イタリアは、生、調理済み、詰め物など、あらゆる種類と調理方法のパスタの輸出額で世界第1位にランクされ、その額は44億ドルに達し、次いで中国(12億ドル)、トルコ(9億ドル)、ドイツ(5億ドル)となっています(2023年)。³ この部門は売上高の約10%を研究開発に投資しており、2013年以降、水の消費量は20%、二酸化炭素排出量は21%削減され、リサイクルされた廃棄物が全体の約95%を占めています。⁴

08.

パスタ生産量、2022年および2023年*
(百万トン)

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
ソース¹ I.P.O と UN.A.F.P.A.; ² イタリア食品組合 - パスタ部門; ³ UN Comtradeからのデータに基づく Fondazione Symbolaの開発; ⁴ イタリア食品組合 - パスタ部門



イタリア
+136 億ドル

アメリカ合衆国
+123 億ドル

アイルランド
+40 億ドル

ドイツ
+17.4 億ドル

インド
+16.6 億ドル

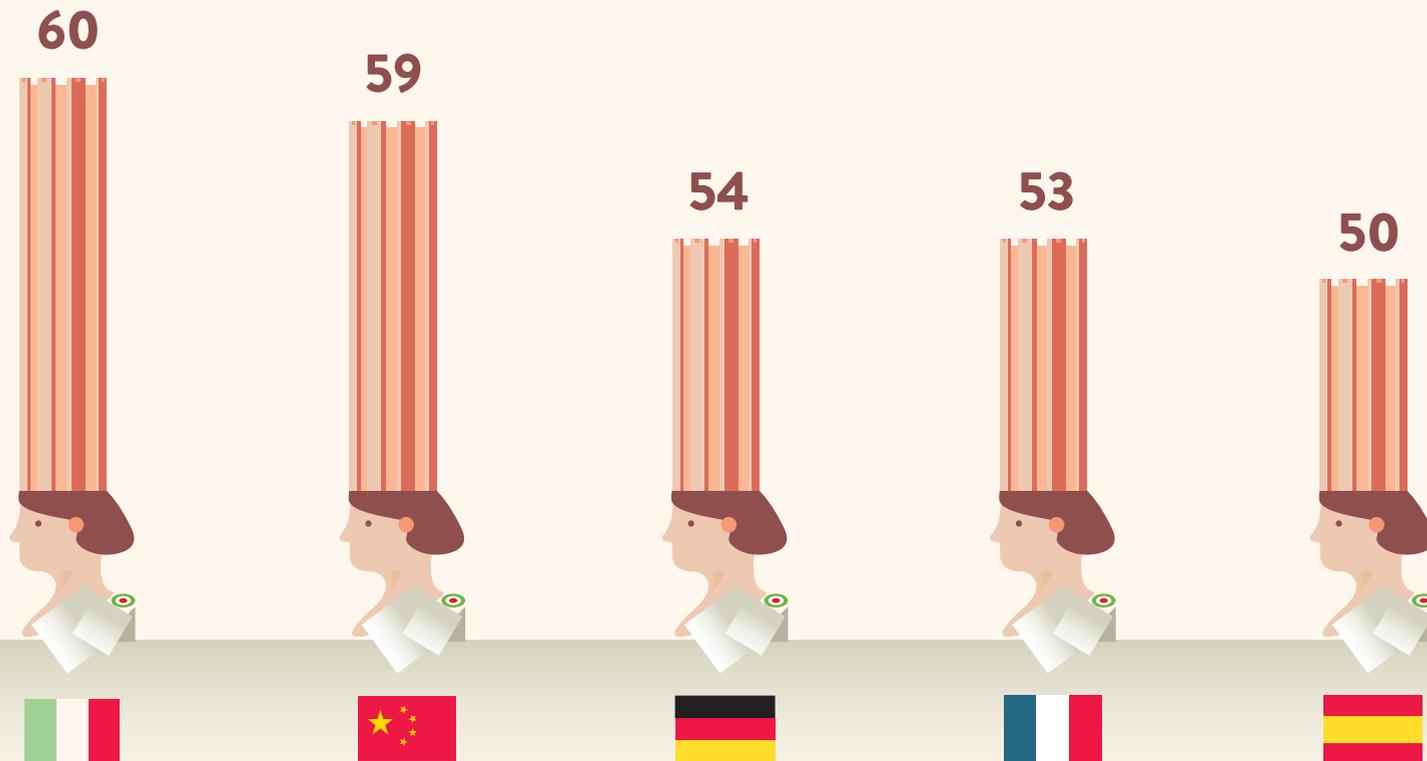
医薬品: イタリアは世界初の輸出成長国

イタリアは、2021年から2023年にかけて医薬品産業の輸出額が136億ドル増加し、世界で最初に増加した国となりました。次いで、米国 (+123億ドル)、アイルランド (+40億ドル)、ドイツ (+17.4億ドル)、インド (+16.6億ドル) となっています。イタリアは、医薬品分野の特許出願の伸び (2014~2018年と比較した2019~2023年の5年間) で欧州第2位 (35%増) となり、フランス (20%増) とドイツ (14%増) を上回りました。¹ ライフサイエンスの分野では、イタリアは論文数 (57,000件) で欧州第2位、EPO (欧州特許庁) を通じてこの分野で取得した特許数では第4位、業界全体の輸出では第3位となっています。 (2023年)² 製薬部門は、10年間でエネルギー消費を32%削減し (生産平均では -19%)、再生可能資源からのエネルギー消費を5倍に増加させました (2011~2021年)。³

09.

医薬品輸出額の伸び、2021~2023年
(数十億ドル)

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフイーでイタリア」, 2024
ソース¹ EPO データに基づく Farmindustria の開発;
² Scimago、EPO、UNCTADSTAT のデータに基づいた
The European House - Ambrosetti の開発 (2023); ³ Istat
データに基づく Farmindustria の開発



ユネスコ世界遺産の数では世界初、デザインではヨーロッパのリーダー

イタリアは、世界遺産リストに登録されている場所の数で世界第1位にランクされています。現在、ユネスコによって認識されている168か国の1,223件の遺跡のうち、60件がイタリアにあり、次いで中国(59件)、ドイツ(54件)、フランス(53件)、スペイン(50件)となっています。¹

文化と創造性は、イタリアで1,043億ユーロの付加価値を生み出します(2023年)。²デザインなどの分野では、イタリアは売上高と人材の面で欧州第1位にランクされ、売上成長率は+27.1%で、EU平均(2021~2022年)のほぼ2倍となっている。デザイナーの約75%は持続可能性の基準を念頭に置いてデザインしています。³

10.

ユネスコ世界遺産、2024(絶対値)

FONDAZIONE SYMBOLA, 「10枚のセルフィーでイタリア」. 2024
 ソース¹ ユネスコ世界遺産センター、2024年7月;
² Fondazione Symbola と Unioncamere, Io sono Cultura 2024;
³ Fondazione Symbola と Unioncamere, Design Economy 2024



この調査で提示されたデータおよび情報の部分的または完全な複製および/または配布は、出典の完全な引用がある場合にのみ許可されます: Fondazione Symbola, 「10枚のセルフィーでイタリア」。

グラフィックプロジェクト: Marimo | brandlife designers

グラフィック: Viviana Forcella | Fondazione Symbola

ISBN 9791281830028

SYMBOLA – FONDAZIONE PER LE QUALITÀ ITALIANE

「Symbola」は「団結する」を意味する古代ギリシャ語に由来し、団結し、品質指向の開発モデルを推進するために生まれました。これは、伝統、領土、技術革新、研究を組み合わせたソフトエコノミーモデルであり、競争力と人的資本の強化、経済発展、環境と人権の尊重を組み合わせたものです。グリーン経済、文化と創造性の役割、社会的一体性、循環経済に基づいたグリーン開発モデルです。 Symbola – Fondazione per le qualità italiane は、経済界およびビジネス界の人々、積極的な市民的立場を持つ人々、領土および州の組織の代表者、文化人、代表事務所を団結させる文化運動です。 Symbola は、集中的な分析および研究活動を通じて、社会、経済、制度、政治に語りかけます。公開されているすべてのレポート（主なレポートには、GreenItaly、Io sono Cultura、Coesione è Competizione、I.T.A.L.I.A. Geografie del nuovo Made in Italy など）がオンラインで入手でき、Web サイトから無料でダウンロードできます。

www.symbola.net | info@symbola.net | 06 45430941